学校番号	３０１８

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	美学・美術史演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　西洋・日本美術史の基本						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術工芸デザイン分野における作家や作品を調査研究し、自分なりの視点を養う授業です。
知識をもとにした考察や自分の考えを文章やパワーポイントにまとめる力を身につけてもらいます。発表や討論を通して他者の意見に触れ、自らの考えを深める機会にしてください。
またレポートの提出状況や授業内での発言など積極的に取り組む姿勢を重視します。

2　学習の到達目標

文化遺産や美術文化を調査研究して得た知識や、自分の考えをまとめる力を身につける。
【知識及び技能】発表や鑑賞、討論を通して他者の意見に触れる中で自分の考えをより深める。
作家や作品の時代背景を調査し、討論、評論する力を身につける。
【思考力・判断力・表現力等】芸術性や作家について研究し、学んだ知識をレポートやパワーポイントにまとめ、発表する力をつける。
【学びに向かう力等】作家や作品について思考を巡らせ、感じたことを他者に伝える活動の中で、観察力、言語能力、コミュニケーション能力を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文化遺産や美術文化について理解を深める。 美術に関する知識や自分の考えを整理しわかりやすくまとめる技能を身につける。	作品の芸術性や作家について研究し、作品などについて発表や討論、評論する力を身につける。	知識や技能を積極的・主体的に活用し、発表活動に生かす態度を育てる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	好きな作家	自分の好きな作家についてパワーポイントにまとめ、プレゼン形式で発表をする。	b: 作品や作家について研究し、発表することができる。 c:期限内に精度の高い発表ができるよう、自己調整をしながら準備ができる。		発表	発表準備状況
	体験レポート	対話型鑑賞を通して、他者の意見を聞きながら、作品の見え方が変化していくことを体験する。 体験したことを文章にまとめる。	a: 美術に関する知識や自分の考えを整理しわかりやすくまとめることができる。 c:発言などで授業に積極的に参加できる。 c:期限内に精度の高い作品が提出できるよう、自己調整をしながら取り組むことができる。	レポート		学習活動の様子 レポート提出状況
	鑑賞レポート	作品を実際に鑑賞し、作品や作者について調査し、自らの考えをレポートにまとめる。	a: 美術に関する知識や自分の考えを整理しわかりやすくまとめることができる。 b: 作品や作家について研究し、発表する力を身につける。 c:期限内に精度の高い作品が提出できるよう、自己調整をしながら取り組むことができる。	レポート	発表	レポート提出状況
2	アートエッセイ	自分でテーマ設定し、アートに関するエッセイを執筆する。	a: 美術に関する知識や自分の考えを整理しわかりやすくまとめることができる。 c:期限内に精度の高い作品が提出できるよう、自己調整をしながら取り組むことができる。	エッセイ		エッセイ提出状況
	鑑賞レポート	作品を実際に鑑賞し、作品や作者について調査し、自らの考えをレポートにまとめる。	a: 美術に関する知識や自分の考えを整理しわかりやすくまとめることができる。 b: 作品や作家について研究し、発表する力を身につける。 c:期限内に精度の高い作品が提出できるよう、自己調整をしながら取り組むことができる。	レポート	発表	レポート提出状況
	美術史	文化遺産や美術文化について理解を深める。	b: 時代や作家について研究し、発表する力を身につける。		発表	発表準備状況
	鑑賞レポート	作品を実際に鑑賞し、作品や作者について調査し、自らの考えをレポートにまとめる。	a: 美術に関する知識や自分の考えを整理しわかりやすくまとめることができる。 b: 作品や作家について研究し、発表する力を身につける。 c:期限内に精度の高い作品が提出できるよう、自己調整をしながら取り組むことができる。	レポート	発表	レポート提出状況
3	美術展企画	美術展がどのように構成されているか分析し、実際に美術展を企画して理解を深める。	a: 美術展がどのように構成されているか分析しレポートにまとめる。 b:分析をもとに、美術展を企画し、パワーポイント等を用いてプレゼンする。 c:期限内に精度の高いレポートや発表ができるよう、自己調整をしながら取り組むことができる。	レポート	発表	レポート提出状況 発表準備状況
	鑑賞レポート	作品を実際に鑑賞し、作品や作者について調査し、自らの考えをレポートにまとめる。	a: 美術に関する知識や自分の考えを整理しわかりやすくまとめることができる。 b: 作品や作家について研究し、発表する力を身につける。 c:期限内に精度の高い作品が提出できるよう、自己調整をしながら取り組むことができる。	レポート	発表	レポート提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度